



さわやかな風が吹き渡る季節となりました。子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。しかし、体や心に疲れが出て、ケガをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。規則正しい生活を心がけ、元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう。



新型コロナワクチン接種のお知らせ



国の方針を踏まえて令和4年3月から5歳～11歳の新型コロナワクチン接種が開始されました。

接種の対象者：5歳～11歳のお子さん

費用：無料（要予約）

使用するワクチン：小児用ファイザー社ワクチン

接種間隔・回数：通常、3週間あけて2回接種

接種当日の持ち物

（1）接種券

5歳になる方は誕生日の月末に順次発送します。

（2）予診票：署名欄に必ず保護者が署名してください。

（3）お子さんの本人確認書類（健康保険証など）

（4）母子健康手帳（特に未就学児）

※予診・接種に保護者（親権者または後見人）の同伴が必要です。

新型コロナウィルスワクチン予防接種について

小児（5歳～11歳まで）の新型コロナウィルスワクチン接種は、予防接種法上の『努力義務』対象ではありません。

- ・接種は強制ではなく同意がある場合に限り行われます。国が提供する接種に関する情報などを参考に、有効性と安全性について理解した上で、ワクチン接種をするかお子さんと一緒にご検討ください。
- ・重症化リスクの高い基礎疾患をお持ちのお子さんは、接種が推奨されています。接種にあたっては、事前にかかりつけ医などと相談の上接種をご検討ください。

県内の警戒レベルは「感染警戒期」です。

感染対策と社会経済活動を両立していくため、気を緩めず、基本的な感染防止対策を継続しましょう。

①県外との往来は十分注意しましょう。

②県内での行動は、換気の悪い混雑した場所など感染リスクの高い場所への出入りは控えましょう。

③会食は、感染対策が徹底されている認証店を推奨しています。大人数・長時間を避け、1週間以内に感染リスクの高い行動をとった方や、体調のすぐれない方は、絶対に出席しない、させないようにしましょう。

④発熱や咳、のどの痛み、倦怠感など、少しでも風邪のような症状がある場合は、出勤や登園を控え、医療機関に連絡し、速やかに受診しましょう。

水分補給について



子どもは大人よりも多くの水分を必要とします。人は汗をかくことで、体温調節しており、体内の水分が不足すると、汗が出せず体温が上がってしまいます。特に子どもは脱水症状を起こしやすいので注意が必要です。こまめに水分補給を行いましょう。

上手に水分の補給をする方法

- ・普段からこまめに水や麦茶を飲むようにしましょう。
- ・飲み方は、1回分は少なめに、回数を多く飲みましょう。
- ・のどが渇く前に水分補給するようにしましょう。

スポーツドリンクなどの飲みすぎに注意！

- ・食欲を失わせ味覚の発達を妨げることになります。
- ・お茶や水を嫌がるようになって飲まなくなってしまう。また肥満の原因の1つになります。